

令和元年度 教養教育科目(自然・科学)
環境と生活—日本の地震防災—
場所により異なる地震動の強さ
(11月15日)

過去の地震の震度分布

2016年熊本地震と震度分布の原則

2011年東北地方太平洋沖地震(北東北)

2011年東北地方太平洋沖地震(弘前市周辺)

兵庫県南部地震—被害と地質の関係

被害が集中している範囲(震度7の範囲)

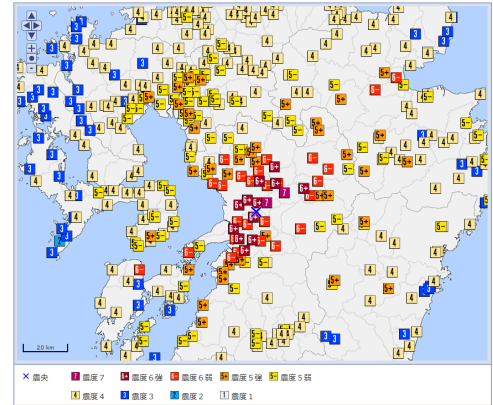


図1 2016年熊本地震の震度分布
(気象庁のHPより)

震度7(と考えられる)の領域

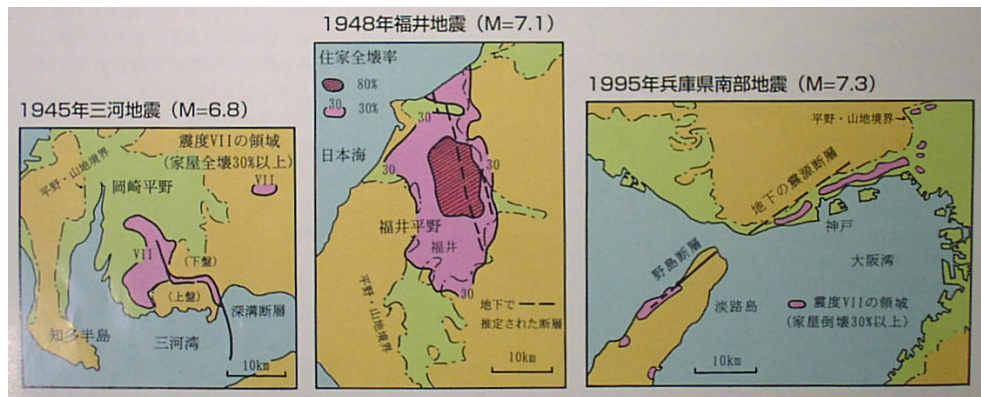


図2 武村雅之:震度7の揺れは地盤で決まる—明治以降の地震被害から,
SEISMO,2002年4月号,5-7,2002.

良い地盤・悪い地盤

川に沿った地盤の堅さ

川の下流部

平地内の微地形区分

微地形区分:

地震災害に遭いやすい微地形区分

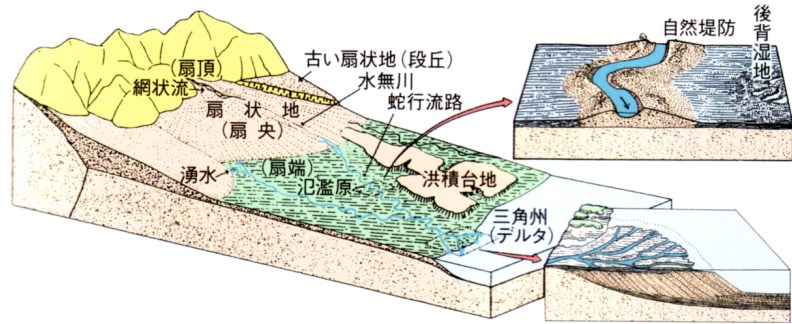


図 I.5.3 沖積平野の模式図。阪口・大森(1995), 成瀬(1995)をもとに作成。

図3 川成平野の微地形. 青森県史より

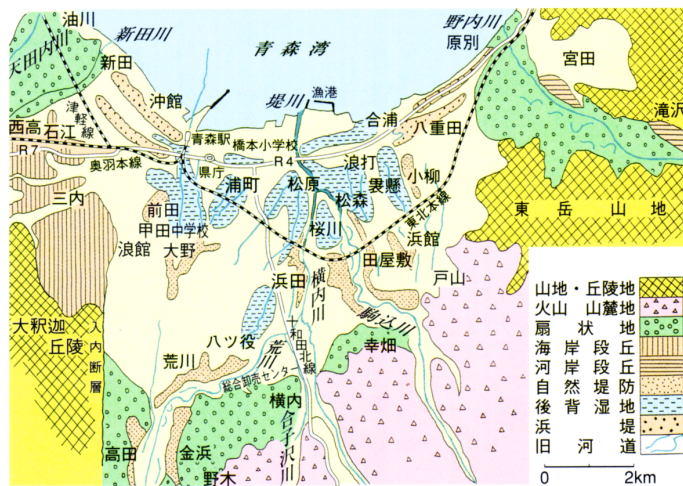


図 I.5.24 青森平野地形区分図。

図4 海岸平野の微地形区分の例. 青森県史自然編より

地震動予測と微地形区分

地震調査研究推進本部がとりまとめた。

<http://www.j-shis.bosai.go.jp>

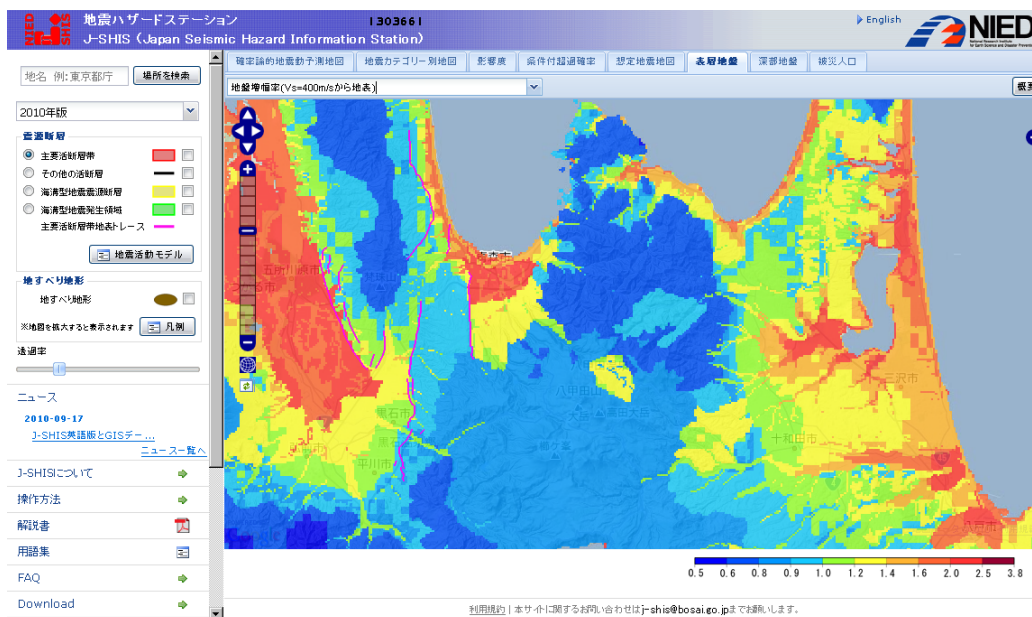


図5 地盤増幅率(揺れやすさ)